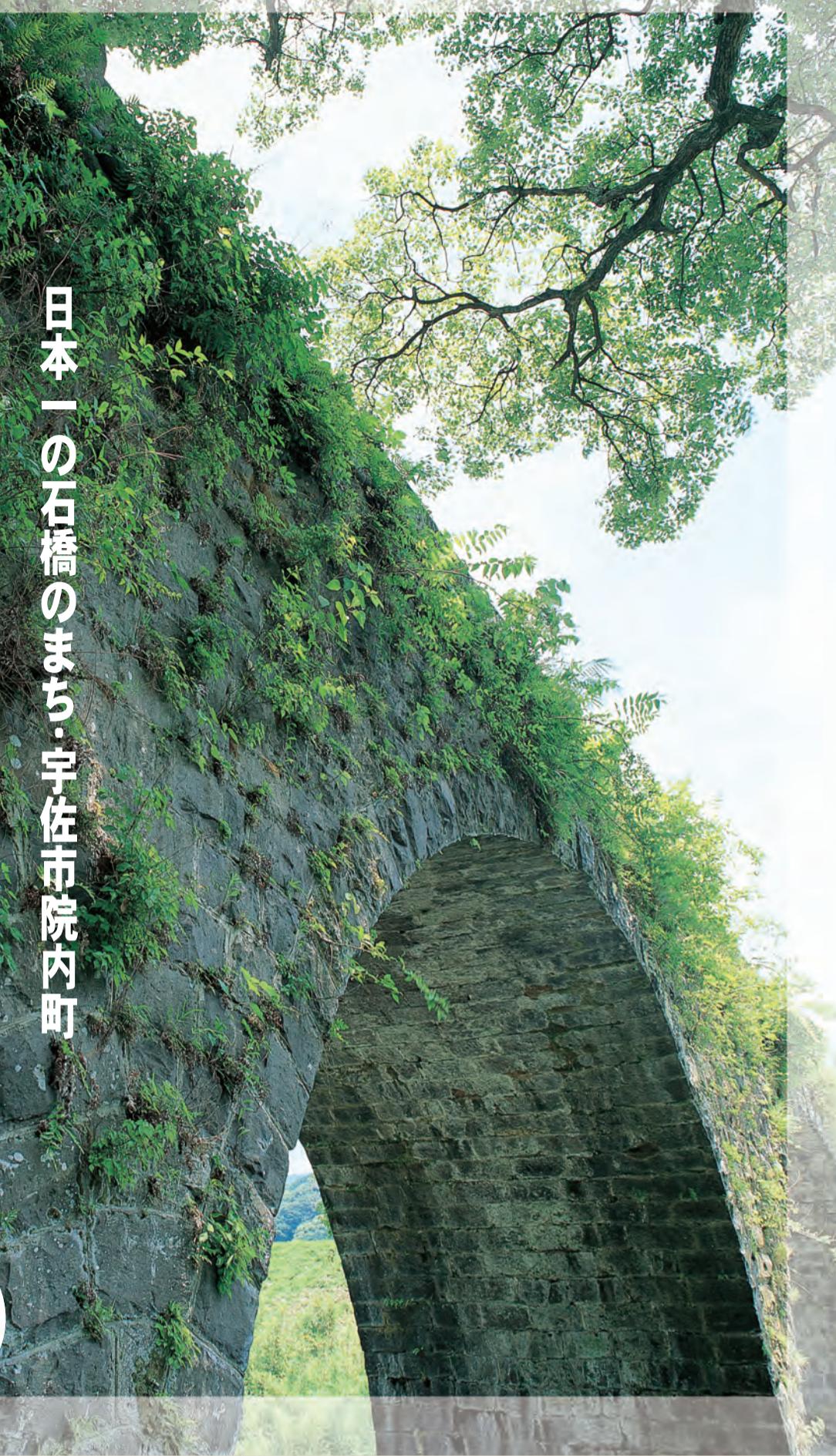


いんない石橋マップ



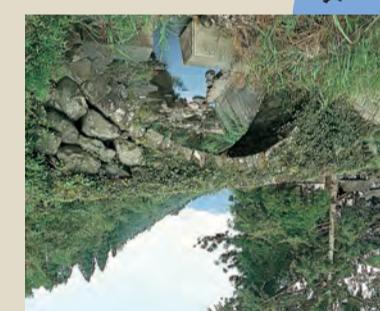
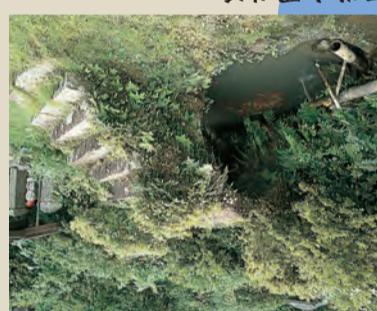
日本一の石橋のまち・宇佐市院内町



西光寺橋 Shikyōji Bridge (市指定有形文化財)
西光寺の参道橋。西光寺は院内町の古刹で、創建は鎌倉時代とされ、本堂は江戸時代に再建されたもの。境内には多くの古木があり、春には桜の名所として知られる。

福勝寺羅漢橋 Fukusōji Raikan Bridge (市指定有形文化財)
福勝寺の参道橋。羅漢とは釈迦の弟子の阿難陀を指す。この橋は、1923年に架設されたもので、その名前は阿難陀の別名から来ている。

一の橋 Ichinohashi Bridge (市指定有形文化財)
院内町の中心部にある石橋。1923年に架設されたもので、その名前は「第一の橋」として知られる。



富士見橋 Fūjimizukyo Bridge (市指定有形文化財)
院内町の中心部にある石橋。1923年に架設されたもので、その名前は「富士見橋」として知られる。

御舟橋 Mibukibashi Bridge (市指定有形文化財)
院内町の中心部にある石橋。1923年に架設されたもので、その名前は「御舟橋」として知られる。

弓張橋 Tōjō Bridge (市指定有形文化財)
院内町の中心部にある石橋。1923年に架設されたもので、その名前は「弓張橋」として知られる。



弓寺橋 Bui Bridge (市指定有形文化財)
院内町の中心部にある石橋。1923年に架設されたもので、その名前は「弓寺橋」として知られる。

荒瀬橋 Arase Bridge (市指定有形文化財)
院内町の中心部にある石橋。1923年に架設されたもので、その名前は「荒瀬橋」として知られる。

川寺橋 Kawaishi Bridge (市指定有形文化財)
院内町の中心部にある石橋。1923年に架設されたもので、その名前は「川寺橋」として知られる。



宇佐の特産物と情報が満載
道の駅いんない

ふるさとのまごころ発信



日本の生息地の南限として、院内町に生息するオサンショウウオ。国の特別天然記念物にも指定され、「生きた化石」と言われています。ぶぶらぬ瞳がわいいオサンショウウオが、このステーションで特別公開されています。

宇佐の特産物と情報が満載
道の駅いんない

ふるさとのまごころ発信



日本の生息地の南限として、院内町に生息するオサンショウウオ。国の特別天然記念物にも指定され、「生きた化石」とと言われています。ぶぶらぬ瞳がわいいオサンショウウオが、このステーションで特別公開されています。

道の駅いんない

TEL・FAX(0978)42-5539

営業時間／8時から18時

定休日／なし、年中無休

宇佐市院内町副1381の2

まごころのこもった特産品や、山の幸をつかったレストラン。
ここから、院内のホットな情報を発信します。

■道の駅いんない

院内めぐりは、まずここで情報収集を。石橋の解説やパンフレットなど、院内の豊富な情報を発信しています。また、おみやげに最適な朝採りの新鮮な野菜や果物をはじめ、院内の特産ゆずをつかった品々など、真心のこもった逸品が満載。レストランいしばし茶屋では、どじょう鍋、宇佐からあげ、だんご汁など、宇佐市ならではのメニューが人気です。

日本一の石橋のまち・院内町

地勢と水系と匠たち

名工・松田新之助

●石橋づくりにかけた口マン

島居橋や荒瀬橋など、院内を代表する石橋を10基以上も架けた名棟梁・松田新之助(1867~1947)。彼は父の土木工事を手伝うため関西でアーチ設計の技術を学び、帰郷した後は、院内の地形にあつた石造アーチ橋の架設に情熱を注ぎました。

1924(大正13)年、架設中の富士見橋が、突然大きな音とともに崩落。しかし新之助は私財を払い払い、名工としての意地と信念で再び架設、翌年には見事に富士見橋を完成させました。石橋づくりに生命を燃やした「石工の魂」を伝えるエピソードは、今も私たちの胸をうつてやみません。



●宇佐市内その他の石橋

1とくしん橋 Tokushin Bridge (市指定有形文化財)

所在地：宇佐市大字山本 架設年：延享2年(1745年)
鷹栖観音堂の下流で駿河川に合流する社ヶ谷川に架かる橋。県内最古の石橋と考えられており、名前は橋を架けた僧の名からつけたと推測される。



3父の背橋 Chichinose Bridge

所在地：宇佐市院内町柳原 架設年：平成23年(2011年)
地域の石橋文化を次代に伝えるため、院内北部小学校の父親部が中心となって4年をかけて親子、地域で造られた石橋で、院内の76基目の石橋と言われています。



※小学校敷地内のため、見学には許可が必要となります

2今井橋 Imai Bridge (市指定有形文化財)

所在地：宇佐市安心院町大 架設年：大正12年(1923年)
今井地区的酒造業佐藤氏の計画により架設された石橋。院内の石橋とは対照的な短い橋脚が特徴的均整の取れた美しい3連アーチ橋である。

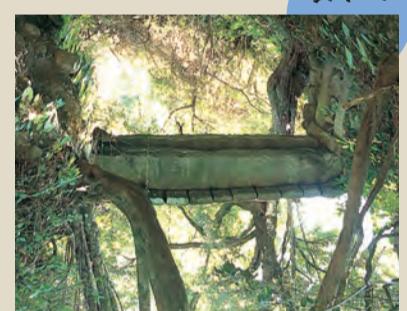


お問い合わせ／

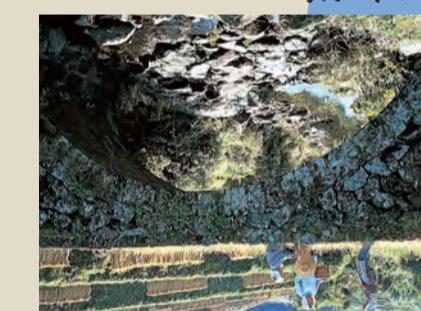
宇佐市院内町産業建設課 大分県宇佐市院内町山城43番地
TEL:(0978)42-5111 FAX:(0978)42-5115
(一社)宇佐市観光協会 大分県宇佐市南宇佐2179-3
TEL:(0978)37-0202 FAX:(0978)37-0601
(一社)宇佐市観光協会 院内部会 大分県宇佐市院内町副1381の1
TEL-FAX:(0978)42-6040

発行／宇佐市

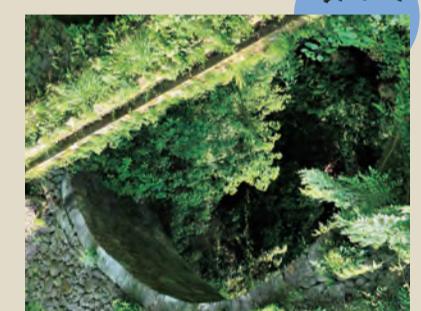
西合川橋 Ryōgawa Bridge (市指定有形文化財)
西合川の支流である西合川に架かる橋。1923年に架設されたもので、その名前は「西合川橋」として知られる。



打上橋 Uchibaru Bridge (市指定有形文化財)
打上川の支流である打上川に架かる橋。1923年に架設されたもので、その名前は「打上橋」として知られる。

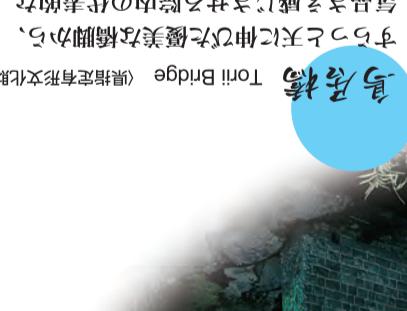


河原川橋 Kōgawa Bridge (市指定有形文化財)
河原川の支流である河原川に架かる橋。1923年に架設されたもので、その名前は「河原川橋」として知られる。



富士見橋 Fūjimizukyo Bridge (市指定有形文化財)

院内町の中心部にある石橋。1923年に架設されたもので、その名前は「富士見橋」として知られる。



弓舟橋 Bui Bridge (市指定有形文化財)

院内町の中心部にある石橋。1923年に架設されたもので、その名前は「弓舟橋」として知られる。



御舟橋 Mibukibashi Bridge (市指定有形文化財)

院内町の中心部にある石橋。1923年に架設されたもので、その名前は「御舟橋」として知られる。



日本一の石橋のまち

